

# 『今が、歴史を創る時』 個々人がつむじ風を起こそう

## 第9回 リーダーシップと外交、そして上海万博

(毎月掲載)

永田 隆一

中国の古典『呻吟語』の最初のところに出てくる言葉です。『深沈厚重なるは、是第一等の資質。磊落英雄なるは、是第二等の資質。聡明才弁なるは、是第三等の資質』

哲学的な深さは感じますが、ただそれだけであります。

かたや、マキャベリの『君主論』にてでる言葉があります。

『君主に必要な資質とは、人間的に誠実であることである。しかし、資質の有無よりもずっと大切なことは、いかにも資質があるかのように振舞うことだ。とりわけ、新しい君主は、いつも善良であってはならず、信義に背くことも必要だ』

これが、政治の真実なのかもしれませんが、何度も読み返してしまうほどの衝撃を感じます。

### 《国家の Power of Balance》

国と国との交渉の基本は、水面下の力学的な国力を武器とした、パワー・オブ・バランスを軸とした外交です。そして、水面上で、互惠・共存共栄の旗印の下に、落とし所をさぐるのであります。

私の知人の意見です。『現在の日本の政治力・国力では、もう中国に対しては、パワー・オブ・バランスを基本とした外交はできない。有事に備えて、日米同盟に頼るしかない。そのためには、日本政府はもっ

と緊密に米国との関係を保たなければならぬ』一理ございます。

確かに、沖縄に駐留する米国海兵隊の仮想有事の訓練は、

①中国が尖閣諸島を占領した場合、すみやかに尖閣諸島から中国人を国外退去させる。

②北朝鮮で、後継者問題がこじれて内戦となり、自暴自棄になったグループがテポドンに核弾頭を積み発射の準備に入った場合、速やかに核施設を制圧する。

であるようです。

また、米国合衆国憲法で重要なことは、陸・海・空軍は、議会の承認がなければ、一兵たりとも派遣できません。時間がかかるのであります。しかし、海兵隊だけは、大統領の電話1本だけで出動できる部隊なのであります。

このような具体的な訓練内容を考えると、私も含めて平和ボケした日本国民は、空恐ろしくなっています。これがまぎれもない現実なのかも知れません。

### 《企業の Power of Balance》

企業活動においても、同じことが言えます。グローバルな競争にさらされて、サバイバルを目指す企業にとりまして、政府の見識の低さとリーダーシップのなさが招いている

①円高

②高い法人税

③製造業への派遣労働規制

④農業がネックとなり、FTA（自由貿易協定）をアジア諸外国と締結できない

という大きな逆風のなかで、経営戦略を考えなくてはなりません。

国外に工場を移す、あるいは、本社を海外に移すことを決断した経営者は、自分の信義に背いているのかも知れません。就業機会を日本人に閉ざすわけでありまして、企業活動で得た利益に対する税金を、日本国内から、外国へ変更するわけでありまして。さらに、外からの『国を売った』というそしりを振り払って、サバイバルのための決断をなさった経営者の方々は、決して少なくありません。ところが痛まない訳はございませんが、正しい決断であります。

さて、くだんの知人のSさんは、夏休みに『上海万博』へ行かれて、教えてくれました。中国館が中心に位置し、その周りをアジアの国が取り巻き、日本館はその中で端に位置しており、そして、すべての国の中で一番遠くに米国館が位置している。これが、まぎれもない『中華思想』の表現であり、中国という国の覚悟でありましょう。

(毎月掲載)